



加古川市立神吉中学校
学校だより
校長室より 修学旅行特集号

修学旅行スローガン

火山の鼓動 私たちの心道

～100年先まで忘れない鹿児島～

3年生修学旅行を、5月21日（木）～23日（土）の2泊3日の日程で実施しました。この修学旅行で訪れた「鹿児島」は、雄大な桜島や錦江湾に代表される豊かな自然に囲まれ、明治維新のふるさととしても知られる歴史あるまちです。1日目はあいにくの雨でしたが、2日目以降は快晴となり、生徒たちは鹿児島を満喫しました。

修学旅行の様子

1日目 5月21日（木）

JRで宝殿から姫路に移動し、姫路駅団体スペースで出発式を行いました。出発式では、3日間お世話になる添乗員さん、写真屋さんを紹介し、いよいよ3年生が楽しみにしていた修学旅行がはじまります。

8時40分発の新幹線に乗車し、姫路を出発しました。新幹線内では、各自で持参したトランプやUNOをしたり、



友だちと和やかに話をしたりしながら過ごしました。博多で新幹線を乗り換えた後、車内で弁当を食べ、予定通り12時42分に鹿児島中央駅に到着しました。



まず、鹿児島中央駅からバスに乗車し、「知覧特攻平和会館」に向かいました。バス内では、バスガイドさんが戦時中の知覧について説明してください、生徒たちは平和について考えながら移動しました。

知覧特攻平和会館

太平洋戦争末期、知覧には陸軍の特攻基地が置かれていました。今から81年前には、加古川からも多くの若者が特攻隊員として知覧に向かいました。この修学旅行で訪れた「知覧特攻平和会館」は、特攻により戦死された隊員の当時の真の姿、遺品、記録を後世に残し、恒久の平和を祈念して建設された施設です。

はじめに、知覧特攻平和会館の語り部として活動されている桑代照明さんにご講話いただきました。特攻の歴史や背景、家族や愛する人への遺書や手紙に触れながらご講話いただき、生徒たちは、当時の特攻隊員の真の思いはどのようなものだったのか、いのちや平和がどれだけ尊いものなのかを深く学びながら講話を聴きました。



最後に、語り部さんへの感謝の気持ちと、平和への願いを込めて合唱した「大地讃頌」は、3年生全員の心が込められたすばらしいものでした。



また、セレモニーでは、平和を祈念して折り鶴を奉納し、各クラスで考えた平和宣言を読み上げました。



その後見学した館内には、当時の若者たちが遺した手紙などの遺品や写真、関係資料が展示されていました。生徒たちは見学を通して、このような悲劇を生みだした戦争についてしっかりと考える機会となりました。



平和学習後、バスに乗車して「指宿シーサイドホテル」に向かいました。

指宿シーサイドホテル

1泊目の「指宿シーサイドホテル」は、鹿児島県薩摩半島の南端にあり、穏やかな錦江湾を目の前に臨むホテルで、砂蒸し温泉が体験できます。指宿の砂蒸し温泉は、

海岸に湧き出る温泉で温められた砂を浴びる天然のサウナで、全身を芯から温めて血流が促進されるなどの効果があります。生徒たちは、ホテル到着後、はじめに砂蒸し温泉を体験しました。



夕食は、鹿児島産黒豚など、地元の新鮮食材にこだわった美味しい料理を堪能しました。



2日目 5月22日(金)

2日目の午前は「指宿体験学習」を行いました。ホテルからバスで各体験施設に移動し、6つのコースに分かれて体験学習を行いました。

指宿体験学習

<水上アクティビティー>

九州最大のカルデラ湖である池田湖で、インストラクターによる指導のもと、シーカヤックやジェットスキーなどの水上アクティビティーを体験しました。



<ハーバリウム作り>

鹿児島産の花（ドライフラワー）を自由に選んで手元でアレンジし、それをビンに入れてハーバリウムオイル（植物標本用オイル）を注ぎ、完成させました。



<火山の宝石「オリビン」採取>

川尻海岸の砂の中からオリビン（宝石名：ベリドット）を探し出し、それを小瓶に詰めました。



<藍染めハンカチ作り>

池田のきれいな地下水と、指宿鯉節の製造過程で出た木炭を利用した指宿ならではの藍染め製法でハンカチを作りました。



<ハンバーガー作り>

指宿産の黒豚100%を使ったパティと、野菜を使った特性ソースを作って、プレミアムなハンバーガーを作りました。



<ピザ作り>

鹿児島県や指宿産の新鮮でおいしい野菜をふんだんに使ったピザを作り、それを溶岩プレートで焼いて出来立てを試食しました。



体験学習後、バスで「奄美の里」に移動し、昼食は、奄美大島の郷土料理「鶏飯（けいはん）」を堪能しました。



その後、班別学習の出発場所としている中央公園に向かう途中、ドルフィンポートに立ち寄り、桜島をバックにクラス写真を撮りました。快晴の中、雄大な桜島が広がっていました。



鹿児島市内班別学習

2日目の午後は、「鹿児島市内班別学習」を実施しました。

この班別学習では、「歴史」「美術館・博物館」「自然・展望」の3つのジャンルから2つ以上、史跡を2か所以上見学するという条件で、各班で見学ルートを決めました。

「歴史」分野の主な見どころとしては、2代薩摩藩主島津光久が別邸として造営した「仙巖園」や、島津家の遺品が展示されている「尚古集成館」などがあります。「美術館・博物館」分野の主な見どころとしては、日本の近代洋画の発展に貢献した鹿児島出身の画家、黒田清輝や藤島武二らの作品が展示されている「鹿児島市立美術館」や、幕末の薩摩の様子や明治維新を支えた偉人たちの姿が展示されている「鹿児島市維新ふるさと館」などがあります。「自然・展望」分野の主な見どころとしては、道の駅桜島「火の島めぐみ館」や、市街地と桜島を一望できる定番スポットの「城山展望台」などがあります。



生徒たちは、班の仲間たちと一緒に史跡をめぐりながら、自分たちで選んだ施設を見学し、鹿児島の歴史を学びました。

班別学習終了時刻の17時30分には、集合場所である「鹿児島中央駅」に、すべての班が集合することができました。



その後、バスに乗車して「サンロイヤルホテル」に向かいました。

鹿児島サンロイヤルホテル

2泊目は、ホテルから桜島が一望できる「サンロイヤルホテル」に宿泊しました。



夕食後に実施したレクリエーションでは、クイズ、歌、オタマトーン演奏、ダンスで盛り上げてくれました。

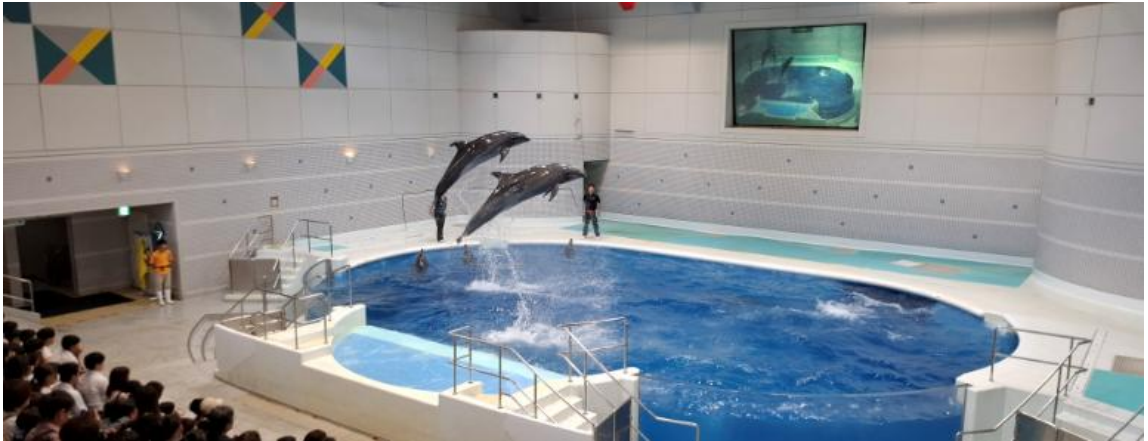


3日目 5月23日(土)

いおワールドかごしま水族館

3日目は、「いおワールドかごしま水族館」で、ジンベエザメやカツオなどが群泳する黒潮大水槽や、南西諸島の海、鹿児島県の深海、クラゲ回廊など、鹿児島県の海を表現した水槽を見学しました。生徒たちはお土産を購入しながら、水族館を楽しみました。最後には、イルカ館でイルカのショーがありました。





水族館を見学後、バスに乗車して JR 鹿児島中央駅に向かい、予定通り 12 時 46 分発の九州新幹線に乗車しました。

最後に、加古川西公民館駐車場で解散式を行い、修学旅行でお世話になった添乗員さんに感謝の言葉を述べ、修学旅行 3 日間の行程を終えました。解散式の際、生徒たちの様子を見てみると、修学旅行でたくさんの思い出ができ、充実した 3 日間であったことが表情に現れていたように思います。旅行中、バス内でたくさんの話をしてくれたバスガイドさんや運転手さんとの出会い、鹿児島県の方々との出会いも、大切な思い出となっているのではないのでしょうか。



残された中学校生活においても、学年のよさや持ち味を大いに生かして最高学年としてのリーダーシップを発揮するとともに、仲間や先生方とともにたくさんの思い出をつくってほしいと思います。

また、集合・解散場所から遠方のご家庭におかれましては、お子さまの送迎等、ご協力いただきありがとうございました。今後も引き続き、保護者のみなさまからのご支援、ご協力を、よろしくお願いいたします。

